



今月の題字
西館 澄実ちゃん
(船越小4年)

田丁のわだい

八幡町の貫洞さんに長寿祝い金 家族と笑顔で迎えた100歳

八幡町の貫洞忠男さん（明治40年生まれ）が7月25日で満100歳の誕生日を迎えました。同日、沼崎喜一町長が自宅を訪問し、長寿を祝福。「100歳おめでとうございます。これからも元気で長生きしてくださいね」とあいさつし、長寿祝い金を手渡しました。若いころに痛めた腰以外は特に悪い所も無いという貫洞さんは、話す口調もしっかりとしており、お元気そのもの。貫洞さんはご家族の皆さんと共に笑顔で長寿を喜び合いました。



航空自衛隊 山田分屯基地 創立50周年記念行事 地域と信頼関係の強化誓う

航空自衛隊山田分屯基地（渡邊明司令）では、創立50周年を記念し、各種行事を開催しました。7月14日には基地内で記念式典が行われ、渡邊司令が「航空自衛隊員として今後とも日夜訓練に精錬し、精強な部隊整備に努めるとともに、よりいっそう深い住民の皆さまとの信頼関係を築いていきたい」とあいさつ。続いて自衛隊協力会会長の沼崎喜一町長や同協力会の前理事を務めた川村敬一さんなどに感謝状が贈られました。同日は基地が一般公開され、町内外から450人が来場。50年の歴史を収めた写真パネル展や装備品の展示、模擬戦闘展示などが実施されました。町中央公民館では北部航空音楽隊による演奏会が開かれ、400人が見事な演奏に聞き入っていました。



船越公園で行われたブルーインパルスJrの展示飛行（上写真）／町中央公民館で行われた北部航空音楽隊による演奏会（下写真）／基地内で行われた記念式典の様子



翌15日には台風4号の影響によりブルーインパルスの展示飛行は中止となりましたが、船越公園に設けられた特設会場では装備品の展示や写真パネル展が行われたほか、県内初となるブルーインパルスJrによる展示飛行が行われ、会場に詰め掛けた来場者の皆さんは統制の取れた見事な走りに拍手を送っていました。

善幸さんを顕彰する会へ300万円 出身校OBが善意を寄せる

7月10日、鈴木善幸元内閣総理大臣を顕彰する会（会長・沼崎喜一町長）に鈴木元首相の出身校である旧東京水産大学（現東京海洋大）同窓会の楽水会（樽井史朗会長）から300万円が寄付されました。贈呈式では県楽水会の岩切潤会長が役場を訪れ「全国の同窓生に呼び掛けたところ、2カ月で目標の300万円に達しました。これもご本人のお人柄によるものと思います」と沼崎町長に目録を手渡しました。顕彰する会では鈴木元首相の銅像と顕彰碑の建立、記念館（文庫）の設置を目的に募金活動を展開しており、これまでに約1,800万円が寄せられています。



オランダ島まつり & ビーチフェスタ 2日間で4,100人が来場 焼きそばの無料試食に舌鼓

山田町商工会（阿部幸栄会長）などが主催する三陸山田オランダ島まつり&ビーチフェスタが山田漁港とオランダ島を会場に開かれました。台風4号の影響により前夜祭の花火大会が延期され、一部の行事が中止となりましたが、2日間で4,100人の観光客らが来場しました。このうち、オランダ島会場では宝探しやジャンケン大会などが行われたほか、ジャンボ鉄板で作る海鮮焼きそばが無料で振る舞われ、訪れた人たちは無人島で食べる焼きそばの味に舌鼓を打っていました。

山田中地区 自主防災会 地震体験と津波防災講演会 災害に対する知識を深める

7月8日、山田中地区自主防災会（東海林博会長）と町などが共催する地震体験と津波防災講演会が行われました。町中央公民館前に設けられた特設会場には地域住民160人が来場。防災グッズの展示や津波ビデオの上映、山田消防署職員による心肺蘇生法の講習、町消防団第7分団による消火器の使い方の指導などが行われました。また会場には地震体験車「しんちゃん号」も登場し、参加者は阪神淡路大震災や関東大震災の揺れを体験。地震の恐さを実感していました。続いて町中央コミュニティセンターに会場を移し、津波研究家の上飯坂哲さん（釜石市・69）による津波防災講演会が行われ、来場した皆さんは津波などの災害に対する知識を深めました。



地震体験車で関東大震災の揺れを実感する参加者／上飯坂哲さんによる講演の様子（丸写真）